【実践事例**】** リーダー用：様式５（研修日1週間前までにメールで提出）

〇歳児 実践事例 「　　　　　　　」（時期 　月　　日～　月　　日）

○概要

（子どものどんな姿をとらえた事例か、保育者がどのようなテーマを追いかけて書く事例なのか等、数行でまとめて書く。）

※作成時に赤字は削除する

用紙は１枚となっているが、

2枚以上になることが望ましい。

文字のフォントとサイズは自由。※作成時にこの枠は削除する

（実践のプロセス）

1. ○○○○　　（遊びの展開の節目に応じて，エピソードのまとまりごとに見出しをつける。）

「　　　　　」(　　月　　日)

＜実践事例を書く際のポイント＞　※作成時にこの枠は削除する

・可能な範囲で日付を入れる。

・エピソードの前に、これまでの経過や背景に触れた文章を入れてもよい。（数行程度）

・特定の子どもの育ちで、気がかりな状態からの成長ぶりを書きたい場合は、書き方に注意する。（要録に書くような、配慮のある書き方）

・子どもの思いや言葉を見出しにするとわかりやすい。

・子どもの心が表れている簡単な言葉を取り出す。

・子どもがどのような姿を見せたかできるだけ具体的にストーリーのように書く。

・活動の説明でなく、子どもの姿を追って、その思いや考えにせまって書く。

・登場人物は、ある子どもの成長にかかわる主要なメンバーだけにする 。

・大勢で遊んでいる場面は、「○○たちが・・・」というように複数いることがわかる書き方にする。

・子どもの育ちに関係する背景や保育者の関わりも簡単に文章に入れる。

・保育者がどんな願いを込めて環境や関わりで仕掛けたかについて書く。

**※実践事例には、原則、個人が特定できる写真は掲載しない。掲載する場合は、保護者の同意を得た写真に限る。**

「　　　　　」(　　月　　日)

２．○○○○

「　　　　　」(　　月　　日)

○考察

（遊びの中の学びについて3つの資質・能力の視点で見取ったことや、環境構成や援助について考えたことを書く。）

（自分自身が悩んだこと、上手くいかなかったこと等について素直な思いを書くとよい。）

（記録を書いたり事例検討をしたりする中で、自分の保育を振り返り、捉えなおしたことについても書くとよい。）

〈参考資料〉　　※作成時にこの枠は削除する

『学びをつなぐ希望のバトンカリキュラム「ふくい18年教育」（R7.3月発行）』７９ｐ～１００ｐの実践事例

『学びをつなぐ希望のバトンカリキュラム-学びに向かう力を発揮する-（H31.3月発行）』５９p～７５ｐの実践事例『令和６年度 園内リーダー養成研修受講者による実践事例の記録』の実践事例